

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山岳高原観光推進交通システム構築事業
事業主体 (連絡先)	伊那市 (商工観光部観光課 0265-78-4111)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	965,206円 (うち支援金: 772,000円)

### 事業内容

公共交通を活用する南アルプス林道バス及び分杭峠シャトルバスの利用者を対象とした、定時・定額の乗合タクシーを運行した。タクシー車内で、ジオパークやエコパークの情報展開を進めた。

◇時期 令和4年7月2日～同年10月2日

(南アルプス登山の最盛期) 毎日運行

◇場所 高遠駅～仙流荘/栗沢駐車場 間

◇規模 往復3便/日

◇方法 前日夕方までの事前予約制とする。

利用者から徴収する料金を定額とし、一台の配車運行経費との差額は、1月単位で清算し、市が補填する。車内で、住民協働で作成した、認知度を高める動画を放映。

### 事業効果

当タクシーの運行により、県外をはじめとする市外から伊那市駅及び伊那バスターミナルを経由して南アルプスや分杭峠に向かう観光客の公共交通の利用につながった。

今回、観光目的の乗合タクシーの運行を試行することで、伊那市内における二次交通という役割に加えて、今後、リニア中央新幹線からの広域二次交通に結節する三次交通としての運行実証実験に位置付けた。今後、民間による事業化を見据える。あわせて、車内で、目的地であるジオパークエリアを紹介する動画を配信し、ジオパークの認知度を高めるとともに、当該地域の自然の魅力や楽しみ方、豊かな生態系や生物多様性の保全について普及啓発を進めた。

### 今後の取り組み

当事業では、リニア中央新幹線からの広域二次交通に結節する三次交通としての運行実証実験に位置付けており、今後2年間の実績を踏まえて、伊那地域における最適な交通システムの構築計画につなげる。

また、今後、民間による事業化を見据えて、料金体系や運行形態の修正を行っていく。

あわせて、同交通システムが広域二次交通や自治体内の三次交通の有効な手段と評価され、他自治体においても活用されることを目指す。



(ジオタクシー)

### 【目標・ねらい】

- ①観光目的の乗合タクシー事業化に向けた実証実験
- ②広域二次交通に結節する三次交通としての運行実証実験
- ③南アルプスジオパークの普及啓発及び認知度拡大

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

事業実施をとおして、公共交通を活用して南アルプスを訪れる観光客が顕在化した。また、乗合タクシーが、定期バスの代替として位置づけられることを証明した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある